

BTCC “**新規口座開設限定**”

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

NFT映画を解説! お気に入りの映画に投資しよう

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/film-nft>



暗号資産（仮想通貨）の世界にある程度通じている方なら、NFTという言葉を目にしたことがある可能性が高いでしょう。**NFT映画は、NFTとして市場で販売されている映画や動画の総称です。**現在、大好きなマーベル映画のクリップをNFTとして購入するという新しい投資方法があります。この記事はNFT映画について詳しく紹介していきます。

NFTとは

NFT（非代替性トークン）は「暗号資産」ではありませんが、両者に存在する**ブロックチェーン**（分散型台帳システム）によって、同様の機能を果たします。**ビットコイン（BTC）**や**イーサリアム（ETH）**のような暗号資産は代替可能なトークンで、1つの**ビットコイン**を別のビットコインに交換できます。しかし、NFTはそれぞれがユニークなアイデンティティを持ち、その作成者と購入者にまで遡って追跡可能です。NFTの取引に関する領収書は、一般に公開されている台帳に記録されるため、透明性が確保されます。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

NFT映画が登場

短期間のうちに、NFT業界は、1兆ドル規模の暗号資産業界に追いつく収益性の高い産業としてだけでなく、革新的な新しい偉業として出現しました。NFTは、デジタルアートという当たり前のカテゴリーに革命をもたらしたのです。アート界を席卷したNFTは、BAYCのような退屈な猿のデジタルJPEGやLarva LabsのCryptopunkのようなピクセル化された人物を描いた作品によって、もはやアートニッチにとどまらない存在となりました。トークンは他のジャンルにも浸透しており、ほとんど何でもNFTになり得ます。

例えば、Zoe Rothを起用し、Dave Rothがクリックした人気ミーム「disaster girl」は、なんと401,718ドルを売り上げました。インターネット上で有名なミームや現象は、NFTコミュニティで温かく受け入れられており、写真だけに限定された形式という制約もありません。

ユーチューブで人気を博した「Charlie Bit My Finger」は、760,999ドルを獲得し、NFTがビデオというフォーマットでも同様に価値があることが証明されました。また、ドキュメンタリーや映画など、より長いビデオフォーマットも構成されています。NFT映画が登場し、映画産業におけるNFTの導入により、映画の資金調達が可能になり、保有者は映画が興行収入で稼いだ純収入の中から公平に分け前を得ることができます。

NFTとしての映画企画も登場

NFTとして公開される映画は比較的新しいものですが、この媒体の将来性を期待して、多くのプロデューサーや会社が気軽に参入しています。多くのプロデューサーや会社が、このメディアが将来的に良い結果を出すことを期待し、気軽に飛び込んでいます。

映画におけるNFTのパイオニアたちは下記の通りです。

- クロード・ランズマン：ショアの亡霊-ドキュメンタリー
- ストナー・キャッツ - アニメーション・シリーズ
- デッドプール2-スーパーヒーロートークン
- フォックスのブロックチェーン基盤シリーズ
- 【南極物語】大河ドラマの歴史映画



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） <<<<](#)

NFTと映画製作の資金調達

映画製作者は、特にNFTを利用して、全く新しい手法で映画の資金を調達し、プロジェクトの資金面を円滑にしてきました。

米国を拠点とする映画融資会社フォレスト・ロード・カンパニーは、2000万ドル相当のファンドの設立を発表し、独立系コンテンツ制作者がコンテンツを収益化し、それを通じて収入を得ることができるようにすることを明らかにしました。2000万ドルを手元に置いてプリプロダクション投資を行い、それと引き換えにホルダーはNFTを使って資産の売買ができるようになります。フォレスト・ロードがプレプロダクション投資を回収すれば、プロデューサーはNFTを使ってもたらされるロイヤリティ収入にアクセスできるようになります。

多くの投資家は、生産前の資金調達に投資することに傾注しています。プロデューサー自身が、クラウドファンディングとあまり変わらない方法で、全く新しいファンプロダクションのための資金を調達することができます。映画のクリップ、アートワーク、JPEGを販売することで実現できます。現実世界では何の価値もない数多くのNFTとは逆に、これらのNFTは特別なものです。

映画のNFTは、ビジネス界や企業界がコミュニティと手を組み、全体として利益を生むプラットフォームを作り上げる集団的事業なのです。通常NFTとNFT映画の機能はほとんど同じですが、NFTのバーチャルな世界に現実の有形世界を取り込むことが、映画のNFTを際立たせているのです。NFT映画の保有者は、映画の製作期間中であってもNFTを保有することができるため、映画の公開前に収益を得ることができますし、同時にNFTの所有権を持ち、ロイヤリティを受け取ることでその恩恵を受けることができ

ます。

NFT映画の未来

RAIR TECHのCTOであるGarret Minks氏は、ストリーミングサービスにアクセスするための認証という形でNFTを取り入れ、分散型自律組織（DAO）を通じてスケーラブルな資本を形成すれば、映画業界はWeb3を使った有効なビジネスモデルを構築できると考えています。

「昨年、ConstitutionDAOは、米国憲法を購入するために1週間足らずで4700万ドル以上を集め、コミュニティがいかに速く資金調達できるかを証明しました。最近では、BlockbusterDAOが、BlockbusterブランドをWeb3ビジネスとして復活させるために結成されました。モラリスのようなサービスを使ってブロックチェーンを大規模に読み込めるストリーミングインフラと組み合わせれば、すべての関係者にとってより公平な方法で資金が分配される、クリエイター中心の映画への資金調達に革命が起こるでしょう」とMinks氏は表明した。

BigONE会長のアンディ・リアン氏は、現在のNFTの静的な芸術的評価にもかかわらず、近い将来、NFTは、視聴者が積極的にNFTのプレゼントを探すことに関与して、インタラクティブな映画を可能にすることができるかと主張した。「ブロックチェーン技術と暗号資産を利用することで、スクリーン上のプロダクト・プレースメントもインタラクティブになり、説明責任を果たすことができるようになります。これは、実用性を次のレベルに引き上げるものです。これは、基本的に1分単位で収益化できるため、映画の資金調達にも新たな高みをもたらすでしょう」とリアン氏は述べた。

【他の記事】

[小売店、ビットコインへの関心が低下 グーグルデータが示唆](#)

[IMF、暗号資産に対する資本規制を要請](#)

[【マスターカードEVP】暗号資産やNFTの採用などを言及](#)

[【ロビンフッドCEO】ドージコインが未来の通貨になるか](#)

[仮想通貨、需要拡大を迎え 企業の対応方法](#)